

Think of Next

CSR報告書

Vol.6 2018

トップ座談会「働き方改革を考える」

トピックス「西日本豪雨対応」他

NEXT 15 Targets

CSR 7つの中核課題



Think of Next
CHUOJI GROUP

中特グループ

企業理念

使命

「私たちは生活環境革命で人々を幸せにします」

基本姿勢

1. 私たちは、私たちを取り巻く全ての人々に誠実に接します
2. 私たちは、時代の風向きに敏感に反応し、いかなる時代が来ようとも存続します
3. 私たちは、共に地球に暮らす一員として、社会のために役立つ存在となります

行動指針

1. 明るく元気に
2. 迅速丁寧
3. 目配り気配り思いやり
4. ピンチはチャンスプラス思考

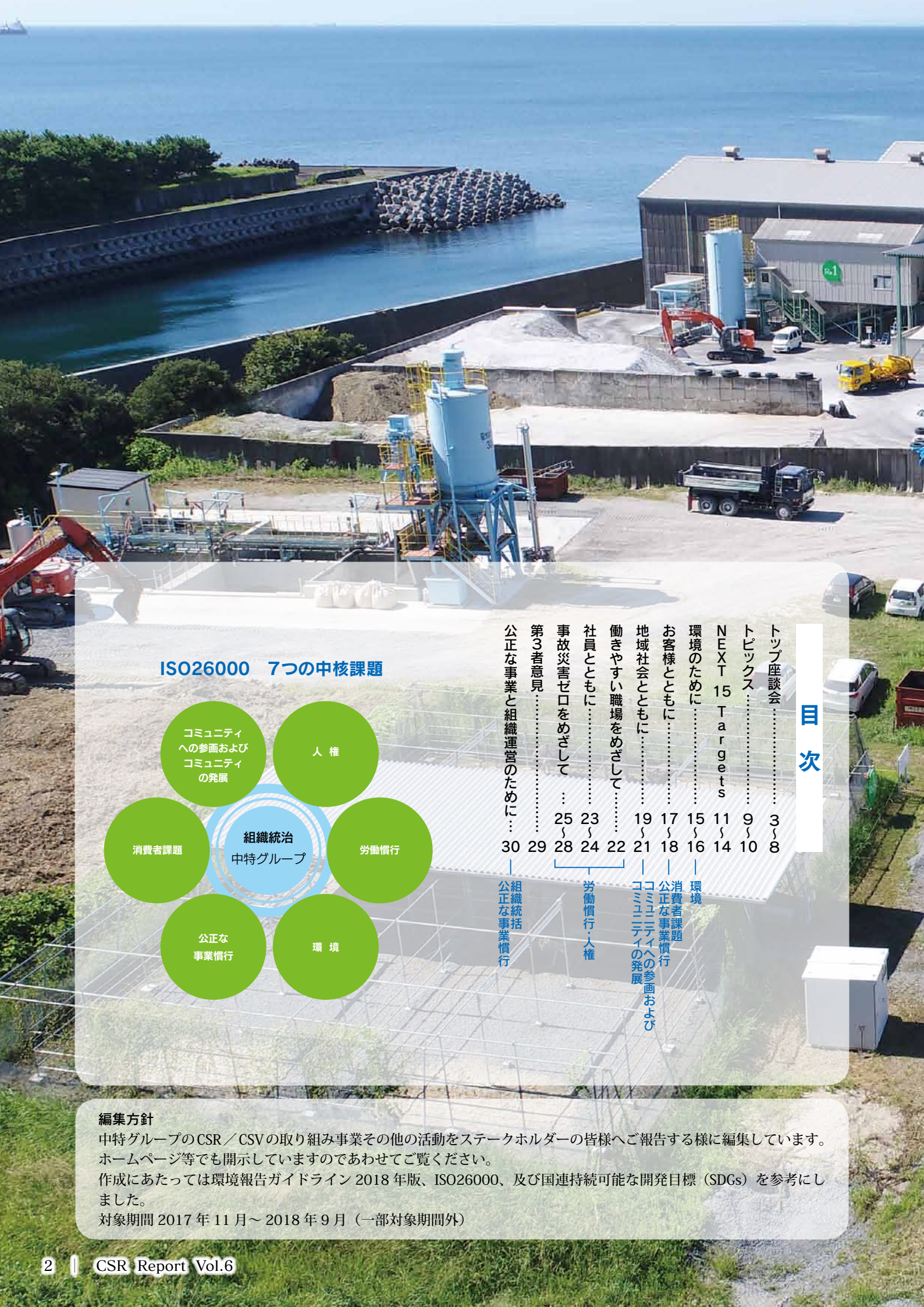
目指すポジションNo.1

- 社員の幸せNo.1
- お客様の満足No.1
- 社会に貢献No.1
- 未来の創造No.1

表紙写真

ダチヨウによる食品リサイクル

スーパーから発生する野菜くずをダチヨウに食べさせ、さらにダチヨウの卵から抽出した抗体にて各種商品開発をしています。



ISO26000 7つの中核課題



目次

トップ座談会……………	3	公正な事業と組織運営のために…
トピックス……………	8	
NEXT 15 Targets……………	10	公正な事業慣行 コミュニティへの参画および
環境のために……………	14	
お客様とともに……………	15	労働慣行・人権
地域社会とともに……………	16	
働きやすい職場をめざして……………	17	公正な事業慣行 コミュニティへの参画および
社員とともに……………	18	
事故災害ゼロをめざして……………	19	労働慣行・人権
第3者意見……………	21	
公正な事業と組織運営のために……………	22	公正な事業慣行 コミュニティへの参画および
第3者意見……………	23	
公正な事業と組織運営のために……………	24	労働慣行・人権
第3者意見……………	25	
公正な事業と組織運営のために……………	28	公正な事業慣行 コミュニティへの参画および
第3者意見……………	29	
公正な事業と組織運営のために……………	30	組織統治

編集方針

中特グループのCSR／CSVの取り組み事業その他の活動をステークホルダーの皆様へご報告する様に編集しています。ホームページ等でも開示していますのであわせてご覧ください。
 作成にあたっては環境報告ガイドライン2018年版、ISO26000、及び国連持続可能な開発目標（SDGs）を参考にしました。
 対象期間 2017年11月～2018年9月（一部対象期間外）

トップ座談会「働き方改革を考える」



有休を取りやすい環境をつくるには？

吉本社長 お楽しみ様です。本日は中特グループとしての「働き方改革」について皆さんのご意見をお聞きしたいと思いい集まっていたできました。

まず一つ目のテーマとして「有給休暇を取りやすい環境にするにはどうすべきか？」ですが皆さん、現在有休（有給休暇）は取れていますか？また、有休を取りやすい環境にするにはどうしたら良いと思いますか？



吉本 妙子 社長

池田 前職で働いていた時、旅行やドライブに行ったり積極的に自分が有休を取得したら、部下たちが取りやすい環境になりました。現在のCS営業部でも、上司が率先して取得してくれたら皆取りやすくなると思います。

高松 部長が趣味で率先して取得されているので、自分は子どもの学校行事などで取りたい時に結構取れています。リーダーもいやな顔せず取らせてくれます。

吉本社長 大東さんはシングルファザーですがいかがですか？

大東 どうしても子どもがインフルエンザになったなどで取らざるを得ない状況があります。それ以外ではあまり取ってはいけません。迷惑をかけてしまっています。迷惑を掛けてしまっています。突発的に取っています。

河内 吉本興業のゴミ委託業務のチームは取りづらい様ですが、誕生月には積極的に有休を取る仕組みになっていて、それが上手く機

能している様です。私は体調不良で取らせてもらうことや、趣味で取ることもさせてもらっています。

石井 結構取らせてもらっています。県外出身者なので、長期休暇にプラスアルファで取らせてもらっているのありがたいです。

吉本社長 秦口さんは転職組ですがいかがですか？

秦口 前職は取りづらい職場環境だったので、普通に休みがある感覚になかなか慣れないです。土日の休みがあればそれで充分という感覚があります。

橋本 CEO そうですよ。私達の年代のその感覚が「働き方改革」の足を引っ張っているんじゃないかな。自分たちが会社を引っ張って来たという自負がある世代です。

休んでどうするのか」という考えの経営者の方が多いんじゃないと思います。先ほど、池田さんが部長が率先して取ったら良いと言いましたが、まさにその通りです。

藤井 自分の部署は内山リーダーが融通を利かせてくれるので、妻の出産前後も上手く休ませてくれました。家族優先だからと気を遣ってくれます。

橋本 CEO それは良いですね。私は女性が働きやすい環境にしたいと思っています。私の場合は臨月まで働いて、出産後2ヶ月で子どもを会社に連れてきて仕事をしていました。「昔はそうやって来たの、だからみんな出来るでしょう？」なんて古い考えではダメ。この様な考えは変えていかな

ければならない。中特グループは率先してこれを変えていきますよ。

吉本社長 有休はどの様な時に取っていききたいですか？

大東 有休は子どものために取っていききたいです。前の職場は有休を取るのが難しく、子どもの面倒が見られないので続けられませんでした。

橋本 CEO それは大変でしたね。私は、有休がまだ残っているのならば、1週間でも1ヶ月でも取ってくれて良いと思っています。勿論、事前にきちんと休める状況を作ってからですよ。自分の仕事を放置して周りの人に迷惑をかけて良いわけではないですからね。パタゴニアというアウトドア

ウェアを販売している会社があるのですが、この会社は良い波が来たらし仕事をお願いしてサーフィンしても良いというルールがあるので、本当に素晴らしいと思う。良い波なんていつ来るか分からないですからね。この様な話は部長にはいつも口を酸っぱくして言っています。有休を取りなさい、取ら



秦口 雅史

せなさいと。実際に上司からその様な話は出ますか？

河内 はい。部長もそうですが、家族がいる方は家族サービスに充てられるので良いですが、独身者は逆にやるのがなく、時間を持て余してるとも聞きますね。

石井 僕の部署はリーダーが割と率先して有休をとるので取りやすいのですが、部署としても、誰かが休んでいるときに他の人の業務をカバーし合える様に、お互いの仕事を出来る様にしています。

橋本 CEO 自分しか出来ない事をなくするのは大切ですよ。今、ライフでは担当業務のローテーションを実施していますよね。皆いつ何が起きるのか分からないの



橋本ふくみ CEO



です。プライベートでも自分のやりたい事をきちんと見つけて楽しめないと本当につまらない人生になってしまいますよ。

吉本社長 今、子どもさんがいる方は子どものためにと働いて、休みの日は子どもをどこかに連れて行く、というのは非常に良いのですが、いつか子どもが巣立った時のためにきちんと趣味などを見つけておいた方が良いでしょう。

秦口 僕の子どもがデイズニーランドに行きたいって言うので、どうにか連れて行ってあげたいと思います。ワークライフバランスということ言えば、私は以

前バンド活動をしていたのですが、8年前から段々仕事が忙しくなり出来なくなってしまうんです。でも、実は9月にライブをしてみようと思っただけで練習していません。ここへ入社したおかげでまた出来るようになりました。自分の年齢を忘れて没頭しています。

大東 月初めや月末に1ヶ月のスケジュールを皆で確認しながら、ここで有休が取れそうかどうか相談すれば取りやすいし、計画的に業務が組めると思います。

橋本 CEO 月に1度そういったミーティングをする。それは良いですね。

高松 総務は月の仕事がほしい決まっています、月初めに業務が集中するので、休暇をいただくときは出来るだけ月末に取る様にしていきます。

藤井 eクリーンは事務所に1週間分と1ヶ月分の業務予定をホワイトボードに書き込んでいるのですが、それを見ると一目瞭然で皆で業務の状況を確認できるので、有休の申請もスムーズです。

橋本 CEO 私は有休に限らず、



藤井 慶雅

皆さんがもっと休みやすい環境を作っていきたいと、いつも考えています。そこで実は今、創立記念日を休日にしようと思っっています。その前後に有休を使って旅行などに行けたら良いですね。連休やお盆などはどこも人が多くて大変。渋滞は起こるし、料金設定は高くなりますしね。もっとゆっくりと過ごす時間が作れたら良いなど。

秦口 やはり、休みを取ろうと思つと、お互いが各々の仕事を把握して、スケジュールが組めるようにならないと難しいと感じます。自分が休む時だけがその穴を埋めてくれないと…。

橋本 CEO その通り。特にS Bグループは少人数なので他グ

ループとも協力して応援体制を整えておく必要がありますよね。

秦口 うちの会社に入ってますが感じたのは社員同士、仲が良いですね。会社のイベントでも和気あいあいですし、社員旅行もみんな楽しそうでもん。だからですかね、仕事はやりやすいです。

橋本 CEO それは良かった。私は社員の皆さんと、いかに短い時間で皆さんの利益を出せるかを必死に考えています。残業をたくさんして、休みの日も働いて、それで利益がアップしても、それは当たり前にはいけません。疲弊していくだけで続かないです。それより、知恵を絞ってどう効率よく仕事していくかでしょう。ですから、営業部は中特グループの仕事がいかに価値があるものかをお客さまへしっかりと伝えて理解していただく必要があるのです。安易に値段を下げての受注は決してやってはいけません。現場サイドはお客さまにご納得いただける付加価値の高い仕事をするには何が必要なのか、そして何をすべきかに注力して欲しいのです。

時間外労働を減らすにはどうすべきか？

吉本社長 では二つ目のテーマ「時間外労働を減らすにはどうすべきか？」についても皆さんからのご意見を聞かせて下さい。

業務の生産性を向上して時間外労働を減らすのは、中特グループとしての目標になっていますが、今回具体的な取り組みとして「遅くとも18時退社を徹底しよう！」と橋本CEOより発信がありました。皆さん、出来ていますか？

石井 私は十分帰れています。たまにどうしても残業せざるを得ないことがあります。いつもはしつかり17時には帰れています。

吉本社長 定時までには終わらなかった仕事はどうやって消化していますか？

石井 終わらなかつた仕事は自分で見直して工夫したり、上司や先輩に相談したりしています。

大東 自分もほとんど時間外労働は無いのですが、皆さんで調整しながら、早く帰らせてもらっています。たまに突発で工場への搬入

が遅れるお客さまがあり、その対応で遅くなることはありますが、滅多にないですね。

吉本社長 大東さんの場合は、家庭の事情があるのでリーダーが気を配ってくれているのかもしれないですが、他の人はどうでしょうか？

石井 僕は事務所にいるのでわかりますが、結構頻繁に道路が渋滞していて、搬入が遅れるなどの連絡が来ていますね。終礼の時に到着されて、対応することもありません。今人数が少ない状態なので、土曜日も受け入れや作業をしなければいけない時がありますが、これは今後の課題だと思っています。

橋本CEO 今までと同じ仕事



石井 貴大

のやり方をしていたら、ずっと土日に出勤し続けなくてはいけなくなりますが。今後も人手不足はますます加速する一方で、AIやIoT化は急速に進化しています。だから、もっと先進的に改善する必要があります。いかに時間を短縮していくかを考えないと。

吉本社長 常態化している問題に関して部門内できちんと話し合いがされていますか？

石井 たまに電話で週末に搬入したいというご依頼が入るのですが、リーダーたちはお客さまに納得してもらえる様、丁寧に説明しています。安易に受けることはないです。

橋本CEO それであれば安心です。

お客さまあつての私たちですが、だからと言ってお客さまの無理な要求を全て受け入れる必要はないのです。効率化を図り、質の高い仕事をする。私たちがいかにプライドを持って仕事するかなのです。そのためにも一人ひとりの成長は欠かせません。

高松 総務は時間外はありません



大東 正幸

ね。終礼を16時45分にするので自然と定時に帰れるようになってきました。

橋本CEO 色々な部署があるなかで、どうしても営業部が遅くなりがちだと思うけれど、池田さんはどう？

池田 そうですね。僕は17時半から18時の間には大体帰れています。ただ、僕たちは営業の皆さんから書類作成などを依頼される部署なので朝と夕方にちよつとバタバタします。夕方依頼されて翌日に回せるものは良いのですが、その日のうちに仕上げなければいけない場合も多くあり、どうしても時間がかかるものは遅くなってしまう。

橋本CEO 現在は業務用携帯

を全てスマホにして、それに伴い導入したLINE WORKSによつて仕事の効率もかなりアップしましたよね。情報の共有が一斉に瞬時に図れるのでとても便利ですよ。特にCS営業部においては、社外でもデータを確認したり、すぐに指示が出せる様にタブレットを渡しているのもっと上手に活用して欲しいと思います。

秦口 18時退社徹底の指示があった時に、それはいくらなんでも難しいのではないかと思ったのですが、そうなるともう途中で業務を止めるしかないんですね。ただ、その様にスケジュールを組んでいくと、どうしたら仕事が効率よく出来るかを考えるようになりました。結果、ほぼ17時過ぎに帰れて



河内 七彩

しまっている自分がいます。

橋本 CEO そうなんですよ。そこは強制しないと変われないと思うのよね。今までは足し算で、まだこれだけあるから終わるまでやらなくては、と遅くなってしまう。今後は逆算して早く退社して、読書やスポーツなどの趣味や、家族と一緒に過ごすなど、貴重な時間を大切に使うて欲しいと思います。仕事のやり方を変えないとこの時間外労働って減らせないと思うんですね。

藤井 eクリーンはあまり残業はなくて、16時45分から終礼があつて通常17時には終わります。でも、たまに皆で話し込んで残っていることもありませうけど。

橋本 CEO 仕事が終わつたのなら早く帰りなさい！（笑）

河内 吉本興業は残業はないですが、私の場合はお客さまが企業にお勤めだと、たまに17時以降や週末の対応になることがあります。でも、その様な場合はあまり受注の確率が良くないですね。

吉本社長 自信を持って商談時間の交渉もして下さいね。そこは先

ほど橋本CEOが言われた「プライドをもって！」

さらなる多様化・業務改革をすすめるために

橋本 CEO 先日、働き方や男女共同参画の進んでいる、北欧のフィンランドに視察に行つてきました。その際、通訳の方から聞いたのですが、フィンランドではなんと、残業代に80%の税金がかかるので、残業する方は皆無だそうです。また、「お先に失礼します。」という概念がないので訳すのは難しいらしく、自分の仕事をして退社するのに周りに気を遣う感覚がよく理解できない様です。ドイツ



池田 光憲

ではデパートもお土産屋さんも16時に閉店になります。ガイドさんに「何故そんな早い時間に閉店するの？」と尋ねたところ、「買いたければ開いている時間に買いに来てください。」と言われてしまいました。日本がおかしいのかも知れませんがね。北欧では24時間営業や年中無休なんてあり得ない。今の日本の様な働き方をしていたら皆が疲弊してしまう。私はすっかり北欧に影響されてしまいました。1日10時間も12時間も働いたらきつくて持ちません。

吉本社長 働き方の多様性といった面では、高松さんは「短時間正社員」という働き方をしていますが、小さいお子さんがいらつしゃって通常勤務は難しいという



高松めぐみ

事で、時間を短縮するという働き方を選択したんですね。
高松 まだ少し子どもに手がかかるのでありがたいです。
橋本CEO 今後は介護の問題も出てきたりして、勤務時間なども更に多種多様になって来るはず。周南地区いや日本で一番働きやすい会社になって、みんなが働きたいって思う会社を目指しています。多様な勤務時間のほかにも、社員が生き活きと活躍して健康で充実した生活ができるよう、少数精鋭で生産性の高い体質をつくるべく「労働生産性向上」、「業務の効率化」、「社員のスキルアップ」などを進め、「社員の幸せNo.1」をグループ全員で実感したいと願っています。

CSR座談会出席者

橋本ふくみ
グループCEO

吉本 妙子
(株)吉本興業社長
兼(株)中特ホールディングス企画広報室長

高松めぐみ
(株)中特ホールディングス
総務管理部 経理財務グループ

池田 光憲
(株)中特ホールディングス
CS営業部 営業管理グループ

石井 貴大
(株)中特ホールディングス
未来開発部

藤井 慶雅
中国特殊(株)
エコ事業部 eクリーングループ

秦口 雅史
中国特殊(株)
エコ事業部 SBグループ

河内 七彩
(株)ポータルハートサービス

大東 正幸
(株)リライフ
リサイクル事業部 再資源化グループ

吉本社長 営業や総務の方は普段橋本CEOの近くについて色々話を聞く機会がありますけど、大東さん今日はどうでした？
大東 こんなにお話できたのは初めてです。良かったです。
橋本CEO 大東さんはうちの面接に来てくれた時にシングルファザーで子どもさんも二人いて、やっていけるだろうかと不安に感じていたかもしれないですが、中特グループだからこそ受け入れなくてはと、皆の意見が一致したんですよ。皆協力してくれているでしょう。現場でやりにくい事とかないですか？

大東 いや全くないです。家族の状況と業務を周囲の皆さんが色々配慮して下さるので、本当にリライフに入って良かったです。
橋本CEO それを聞いて良かったです。安心しました。
今日は、皆さんの貴重な話がたくさん聞けて本当に良かった。ありがとうございます。これからも、従来の固定観念を捨てて、意識の改革やスキルアップ、社員間の情報共有、業務の見える化や業務負荷の平準化などを推進して、どうやって働きやすい会社を創るかに一緒に考えて働き方改革を進めていきましょう。



西日本豪雨対応



リライフ前国道 188 線・J R山陽線土砂崩れ

2018年7月に発生しました西日本豪雨はご承知の通り甚大な被害が発生しました。弊社社員、施設に直接被害はなかったものの、まれにみる自然災害でした。J R・道路の不通など影響大で、復旧作業の要請も多く、記録的暑さ、再々に亘る台風の来襲など、自然の猛威に振り回された忘れられない夏となりました。

異常気象、予測される巨大地震、様々な事態に対応すべく非常時の対応体制並びに備蓄資機材の準備など出来る限りの備えを整えておきます。

ポータルハートサービス分社化



株式会社ポータル
ハートサービス
代表者：篠田直美
設立：2018年8月
資本金：1,000万円
社員：10名
業務内容：
・各種片付け事業
・遺品整理事業
・生活関連の
お困りごとの解決
エリア：山口県

2018年8月1日付けで株式会社ポータルハートサービスを株式会社吉本興業より独立分社化し、周南地域のみならず山口県全域へサービスの範囲を拡げました。

全国第4位の高齢化率、核家族増加、地域コミュニティの希薄化などの山口県の社会課題の解決、高齢者のお困りごとの解決にグループの能力をフルに発揮して行きます。

新会社はご高齢の方の皆様の心に寄り添う会社を目指し、片付けにとどまらず日常生活のあらゆるお困りごとの解決するため、頑張つてまいりますので今後にどうぞご期待ください。



CSR検定試験開催



2017年より「CSR検定試験」を山口県周南会場として中特ホールディングスセミナールームで実施しています。

CSR検定試験は初級者向けの3級(春秋)と中級者向けの2級(春)、及び上級者向けの1級(2019年秋開始見込み)とがあります。

今回は2019年4月21日に2級試験、3級試験が行われる予定です。

持続可能な社会を実現するためにすべての社会人(学生含む)がCSRで実践する「潜在的リスクの低減」、「社会課題起点のビジネス創出」、「企業価値や組織価値の向上」への理解を深めることが必要です。

黒糖のど飴販売

中特グループでは黒糖のど飴という新商品を販売開始しました。

京都府立大学の塚本康浩教授と共同開発したもので、ダチョウの卵からとった卵黄抽出物を入れて、飴職人の技術により「黒糖のど飴」になりました。多数のメディアにも取り上げて頂きました。

黒糖味の飴で、1袋15粒入り、

1,000円(税抜)で販売致しました。周南市内、及びネット販売しています。



やまぐち産業維新展出展

9月17日・18日、山口ゆめ花博会場内で開催された「やまぐち産業維新展」に出展しました。

山口県内企業の優れた技能・技術の展示や体験参加型のイベントにより企業と県民のマッチング機会を提供するなど、県内企業のPRとものづくり人材の育成・確保に向けた総合的な産業交流イベントです。

中特グループは「みんなで環境のこと、未来のこと考えよう」と環境関連

企業として環境について考えるコーナーで「環境って何?」「なぜ環境を大事にしないといけないのか?」中特グループの取り組み紹介を実施しました。

沢山の親子づれが来場され楽しんで勉強されました。



NEXT 15 Targets

次世代のために果たすべき、中特グループの15の課題 【経営目標&安全・環境目標】



すべては 次世代 のために・・・“Think of Next”
いつも、環境のこと、社会のこと、子どもたちのこと・・・を考えています。

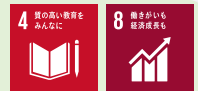


中特グループが地域社会に強く必要とされるために、次世代のために、環境のこと、社会のこと、子供たちのことを考えてグループで何をすべきか、あるべき姿に向かって取り組んでいます。長期ビジョンを踏まえ、今何をすべきか考え、15の課題を掲げて活動しています。

SDGsは2015年国連サミット「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で採択された17のゴール・169のターゲットからなる持続可能な開発目標です。



No.1 中特アカデミーによる自己成長



社員の自己成長を図り、自ら考え行動する自立型姿勢を基本に、お客様から頼りにされる人、中特グループ目標を達成実現できる人、本気のプロフェッショナルを目指し「中特アカデミー」を実施しています。

2015年度から開始し4年目となる2018年度は一般社員、主任・主席、グループリーダーに区分して、一般社員12単位、グループリーダー22単位以上の習得を目標に取り組んでいます。必須科目として、企業理念教育・廃棄物処理法など、リーダーは財務会計その他リーダー研修など、加えて各部門の社員が交代で企画する「社員による社員のための研修会」などを研修しています。



マナー研修にてあいさつ練習

No.2 チームパワーによる改善提案



社員の問題意識を高め、業務の効率化・コスト削減・省資源・省エネ・安全・環境美化向上等々を進めるため、改善提案提出を奨励しています。

2014年度までは、提出することに重点を置き活動していました。

	2014	2015	2016	2017	2018目標
提案総件数	1件/月・ 人提出	435	383	456	450
実施採用		255	205	318	↓
目標		200	250	300	300

2015年度から改善提案委員会を発足させ、評価・実施フォローなど仕組みを整備し目標管理しました。

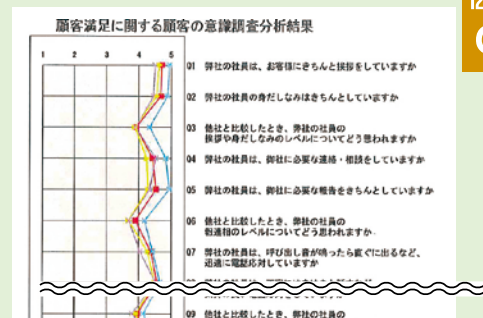
2017年度は全グループ提案件数456件、実施採用件数318件となりました。2018年度は全グループ実施採用の目標300件/年で内容の充実に取り組みます。

No.3 お客様満足度向上 評価4→4.5(2018年度)



お客様満足度の前回アンケート評価は2013年5～6月に実施しており(CSR報告書Vol.1記載)、5段階評価で4.0でした。

次回アンケートは2018年度に予定しており、評価点4.5を目標として取り組んでいます。

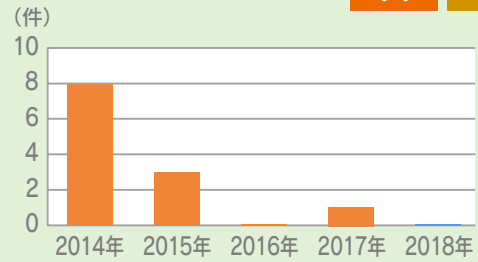


No.4 苦情件数削減、目標0件



苦情についてはゼロ目標で取り組んでまいりました。2015年度3件の苦情が発生していましたが、2016年度は初めて苦情0を達成しました。2017年度は運転マナーに関する苦情が1件発生しました。

今年度は引き続き0件を目指すとともに、お客様の声収集の中のお叱り・クレームの内容について分析を行い、苦情に類するものの解消を図って行きます。



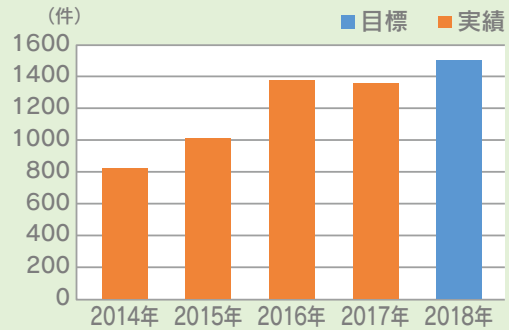
No.5 お客様の声収集



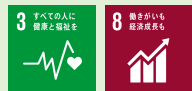
私たちの収益の源は「お客様」です。

そのお客様の声にしっかりと耳を傾け、漏らさず拾い上げることは非常に大切です。それによりお客様のニーズをとらえ、それを活かすことで顧客満足度を上げ、さらには私たちのレベルアップにつながり、さらなる顧客サービス向上につながります。また苦情やクレームは「宝」、私たちにとって業務改善の大きなチャンスです。

2017年度のお客様の声収集は、目標1,400件/年に対し、1,353件/年と目標達成率97%、2018年度は、1,500件/年の目標で取り組んでいます。



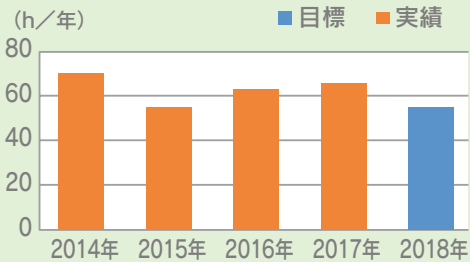
No.6 業務の生産性向上・時間外削減



ワークライフバランスの観点からも、業務の生産性を向上し、時間外の削減に取り組んでいます。

2017年度は業務逼迫もあり、前年(63H/年)比、3H増加し66H/年となりました。

2018年度時間外目標を55H/年としています。



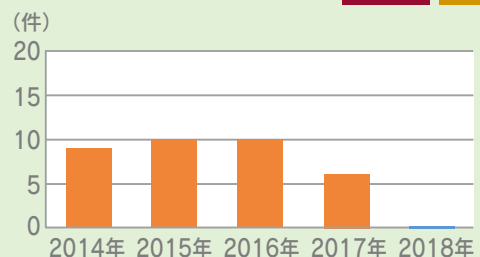
No.7 事故・災害の撲滅



事故災害は常に"ゼロ"を目標に取り組んでいます。

業務の内容に関連して車両による小規模な物損事故が散発します。

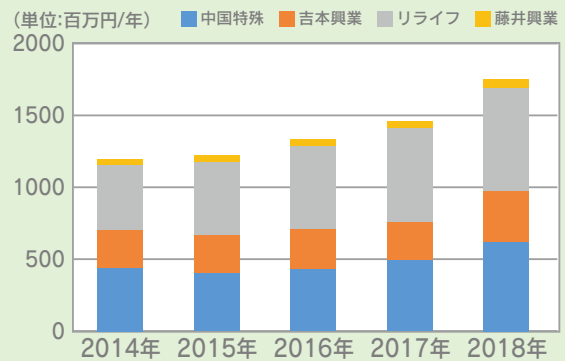
J B K (事故撲滅研修)・RA (リスクアセスメント) 活動その他諸々の活動により年間6件まで削減しましたが、さらに安全運転・KY運転・かもしれない運転を徹底して事故ゼロを目指し活動します。



No.8 年間売上高

売上高は、2016年度13.3億、2017年度14.6億でしたが2018年度目標17.5億円としています。

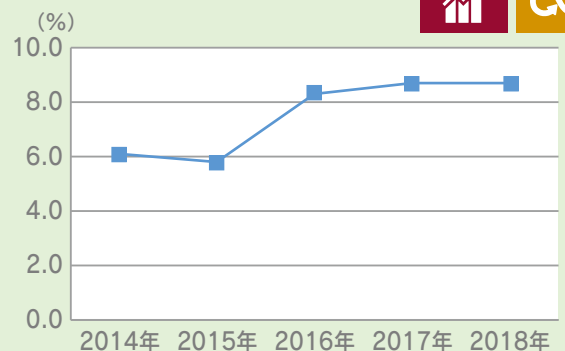
少子高齢化、人口減、周南コンビナートの操業減少・廃棄物減少など、厳しい状況ではありますが、リサイクル事業拡大・ポータルハートサービス事業の展開・異業種との連携など売上増に取り組んでいきます。



No.9 営業利益率

2016年度実績8.3%から2017年度目標8.7%となりました。2018年度も継続し取り組みます。

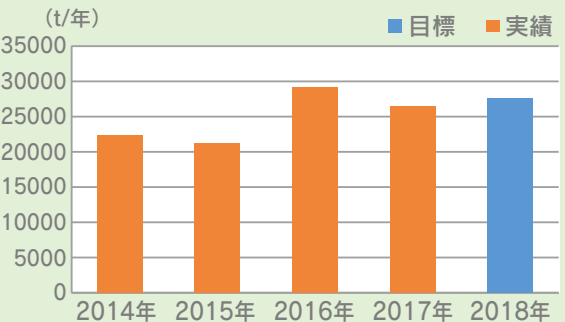
受注からの各プロセスについて収益を見直し、改善を進めてまいります。



No.10 受入量の拡大

資源物（汚水・脱塩・改質・その他）受入量は、地域環境維持向上のため、お客様のニーズに応えるため、売上増のため、拡大を図るべく取り組んでいます。

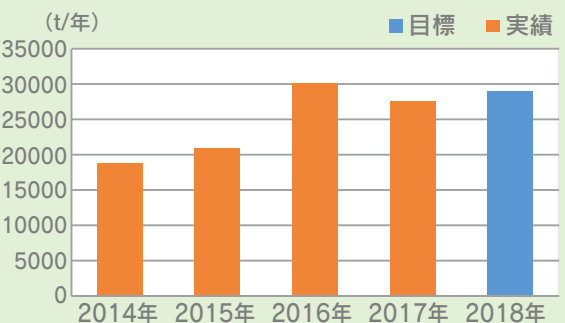
2017年度は法改正の影響もあり減少しました。2018年度は前年度比4%拡大目標で取り組んでまいります。



No.11 再資源化量の拡大

汚泥等の再資源化量についても受入量と同様に取り組んでいます。

2017年度は受入量に伴い連動し再資源化量も減少しましたが、2018年度は反転拡大を目指し取り組みます。



NEXT 15 Targets

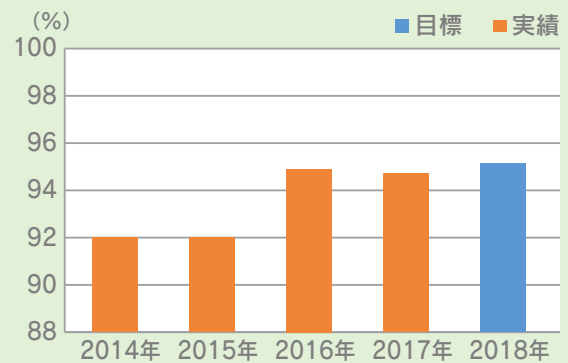


No.12 再資源化率アップ

地球環境の維持改善に貢献するため、産業廃棄物の再資源化率を向上する様に取り組んでいます。

2014年92%（金額計算）から、2017年度94.7%（重量計算）にアップしてきました。

さらに向上を目指します。



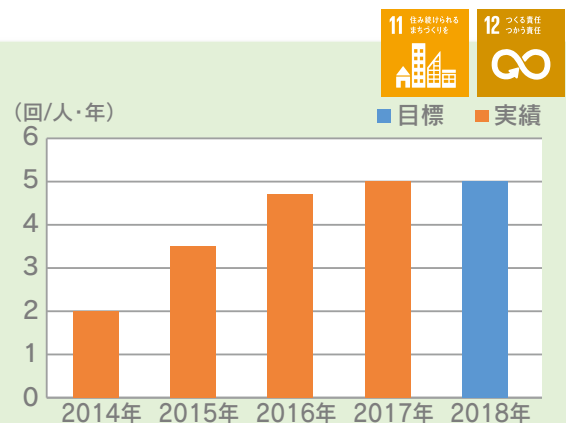
No.13 ボランティア活動への参加

地域のイベント時及び海岸などの清掃ボランティア活動を継続して実施しています。

環境保全クリーンアップ活動ボランティアは延べ回数から、2015年度より1人当たりの年間回数の目標へ変更しました。

2017年度は実績5回/人・年となりました。

2018年度も継続して取り組みます。

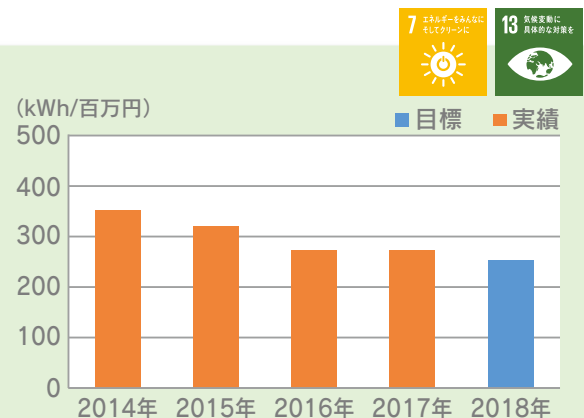


No.14 電気量原単位の削減

省エネ法では一定以上のエネルギーを使う事業所はエネルギー使用効率を毎年1%向上させることを義務づけています。

中特グループは合計でも原油換算量1,000KL/年未満なので該当しませんが、電気量原単位を省エネ法の2倍2%削減に取り組んでいます。

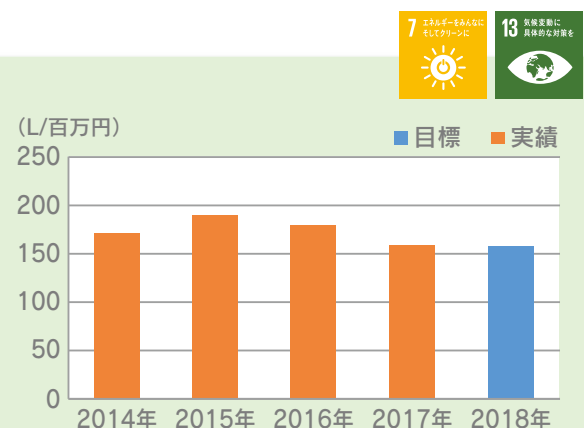
2017年度は、各部門の電気量削減努力並びに売上高増加により前年比3.6%削減できました。



No.15 燃料使用量原単位の削減

燃料原単位についても、電気量と同様に年2%削減目標で取り組んでいます。

2017年度は前年度に対し2.0%削減となりました。今後とも効率的な運行ルート、アイドリングストップなど燃料削減の取り組みを継続してまいります。



環境のために



「中特グループは、地球上の全人類及び地域社会とともに持続可能な発展をするために、環境保全に努め、環境に優しい企業活動を行う。」という考えのもと、地域環境活動を推進しています。

環境方針

基本理念

中特グループは地球上の全人類及び地域社会とともに「持続可能な未来」を創るために、「私たちは生活環境革命で人々を幸せにします」を使命とし、社会環境課題解決に挑み続けます。

環境方針

限られた地球資源の有効活用を促進し地球環境に貢献するとともに、生活環境を豊かにします。

1. 中特グループは、一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬、処分、および再資源化、水処理、ポータルハートサービス等の全事業活動から生じる環境影響を的確にとらえ、次の項目について重点的に取り組めます。

- (1) 中特グループの事業活動の信条に則り、一般市民・企業および官公庁から委託される廃棄物の適正処理に努める事はもとより、廃棄物の再資源化拡大に積極的に取り組めます。
- (2) 汚泥等の処理・受入を拡大し環境影響負荷の軽減を図ります。
- (3) 事業で使用する電力・燃料の原単位向上を図りCO₂低減を目指します。

(4) 地域社会との協調を念頭に置き、地域及び職場の環境美化に努めると共に、各種勉強会の開催等を通じてお客様とのコミュニケーションを図ります。

(5) 地方自治体・NPO/NGOとの協働を行い共有価値の創造に取組みます。

2. 環境マネジメントシステムと環境パフォーマンスの継続的改善を行い環境汚染の予防等の環境保全に努めます。

3. 環境方針の達成のために、経営目標と環境目標および環境マネジメントプログラムを策定し、環境保全活動を推進します。

4. 環境側面に関する法規制、その他の要求事項を明確に遵守します。

5. 環境方針は中特グループで働く全社員および中特グループのために働くすべての人に周知します。またこの環境方針は社外に開示します。

平成30年8月1日
中特グループCEO

橋本 ぶくみ

環境方針変更

2018年8月に環境方針の変更を行いました。中特グループの理念、ISO2015年版改訂、パリ協定などのグローバルな動きを考慮し左記の通り変更しました。

緊急事態・不適合の内容	是正処置等
パッカー車給油口キャップ締付け不良により本社構内で軽油漏れ	キャップキーとエンジンキーを1つにし忘れ防止、指差呼称
苛性ソーダ保管の毒劇物表示不良	漏洩防止に留意したが掲示を怠った。掲示実施
環境目標の未達成4件	未達原因の調査と今後の対策検討実施

緊急事態及び環境不適合は発生Oを目指して取り組んでいますが2017年度次の不適合が発生しました。其々原因調査並びに処置対策を実施しています。

緊急事態・不適合の発生状況

- 【グリーンカーテン】
ゴーヤ、へちま、琉球アサガオなど部署別に植えて取り組み
- 【ノーマイカー運動】
周南市も提唱しており、毎月第3金曜日に実施、参加率2〜3割で延べ削減距離は片道約120km
- 【クールビズ】
事務職中心にクールビズ実施、同時に冷房のこまめな管理実施
- 【エコドライブ】
エコドライブ、アイドリングストップ励行、最短ルートの選択
- 【エコ活動】
オリジナルエコバック配付、環境美化活動、環境啓蒙活動の企画参加



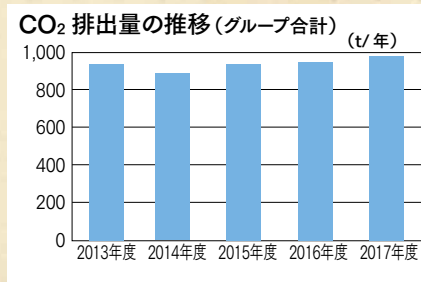
今年も山口県提唱の「ぶちエコやまぐち」CO₂削減県民運動」に中特グループで取り組んでいます。

ぶちエコ やまぐち宣言

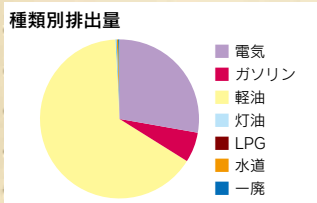
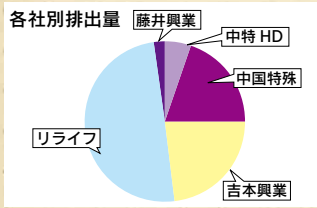
低炭素の取り組み

CO₂削減について

パリ協定が発効し日本も2030年までの削減目標を定めています。これに沿って中特グループもCO₂削減を推進します。



2017年度CO₂発生量は985t、CO₂/年と業務増・売上増の影響で微増となりました。今後も日本政府の削減目標以上を目指して具体的な削減に取り組んでまいります。



カーボンオフセット

今年も9月22日・23日に開催された「周南24時間リレーマラソン2018」において、大会で排出されるCO₂等の温室効果ガスを相殺する「カーボン・オフセット」に取り組みました。

オフセットした対象は、会場電力使用量や参加者・関係者の移動交通や日常生活におけるCO₂排出量で、13,000kg分のCO₂を削減しました。

リトレッドタイヤ

試用

製造工程でその60%のCO₂削減となるリトレッドタイヤの試用を始めました。大幅な石油資源削減にもつながります。

マテリアルバランス

事業活動に伴う資源・エネルギーなどの投入量と、それに伴う地球環境への排出量を表しています。限りある資源を大切に、環境負荷を最小限にすべく取り組んでいます。

(2017年度分)

INPUT 事業に伴う資源・エネルギー等		OUTPUT 再資源化、地球環境への排出等	
汚泥	25,991t	セメント原料	23,360t
がれき類	771t	がれき類	781t
ガラスコンクリ他	219t	ガラスコンクリ陶磁器	317t
廃プラスチック類	817t	廃プラ	634t
金属くず類	350t	ペットボトル	86t
繊維くず	8t	金属くず	284t
紙くず類	28t	缶	72t
ダンボール紙類	582t	紙・繊維くず	20t
木くず	664t	ダンボール紙類	582t
廃アルカリ廃酸	420t	木くず	670t
廃油	226t	アスファルト材	554t
鉱さい	84t	廃油	0t
もえがら	632t	肥料原料	214t
ばいじん灰類	374t	汚泥焼却埋立	209t
動植物性残渣	3t	石膏ボード	63t
処理水	52,039m ³	処理排水	57,771m ³
水道水	3,110m ³	下水排水	3,050m ³
地下水	2,300m ³	地下水排水	2,230m ³
電力	416,016kwh	CO ₂ 排出量 (換算)	985t
ガソリン	26,642ℓ		
軽油	245,692ℓ		
灯油	1,020ℓ		
LPG	126m ³		
コピー用紙	190,491枚	一般廃棄物	1,552kg

リサイクル率:94.7%

中特グループ

お客様とともに



中特グループは、お客様や地域に愛される企業を目指し、真にお客様の立場になったサービスに取り組んでいます。

第12回HAPPY! HAPPY!! 勉強会

6月1日、下松市地域交流センターにて、講師に北京オリンピック日本代表シンクロナイズドスイミングの石黒由美子様をお迎えし、テーマ「夢をあきらめない」をご講演いただきました。

グループ社員約100名に加え、社外より約100名の方にご参加いただきました。

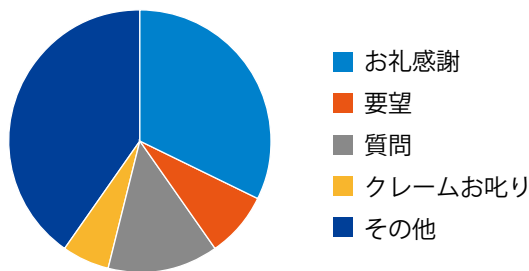
小学校2年生の時に絶望的な大けがを負いながらも、常に前向きな考えを持ち続け献身的なサポートをしてくれた母親と共に夢の舞台オリピックを目指し、2008年北京五輪への出場を果たした石黒様、家族はもろろん人のお役に立つ行いを続けることが必要とし「必ず幸せになれる」という希望を持ち続けることの大切さを訴えられました。



お客様の声収集と分析

お客様の声収集を経営目標に掲げ取り組んでいます。2017年度1,353件/年収集いたしました。内容を分析した結果はグラフの通りです。

2017年度「お客様の声」



クレーム・お叱りが78件ありました。その他については業務実施後のアンケートが含まれています。

クレーム・お叱りの内容をさらに分析すると表に示す通りです。

内 容	件数
連絡コミュニケーション不良	19
まだですか？督促など	15
書類上ミス（宛先、請求書内容など）	12
作業ミス、トラブル	9
運転マナー、駐車場所	9
その他	14

クレーム・お叱りの内訳

連絡コミュニケーション不良が多いことが分かります。再確認復唱など思い違い防止が必要です。また、書類上・作業上のミストラブルを皆無にする努力もさらに必要と考えています。

お客様のご意見

- ◆社員一丸となって課題に取り組み
- ◆社外との対話の機会を創造
- ◆お客様の厳しい声にも対応

Interview



株式会社興産
カンパニー
資材リサイクル事業部長
増田耕太郎様

中特グループ様とは、2017年から当社のセメント製造において原料として使用する産業廃棄物でお取引させていただいております。

このたび、光栄にも「お客様のご意見」への投稿を依頼され、中特グループ様のCSR報告書をじっくり読ませていただきました。

CSRとは、企業活動によって、利益追求だけでなく、様々なステークホルダーからの期待やニーズに対応していくものと考えます。中特グループ様は、企業の使命として「私たちは生活環境革命で人々を幸せにします」を掲げられております。業容として、解体工事や廃棄物処理リサイクル、排水設備のメンテナンス、最近では家庭の整理清掃・高齢者や空き家の見守りを行うポータルハートサービス

など一般企業から個人家庭にいたるまで多様なサービスを提供されておられ、まさに使命そのものを実現されておられることがよくわかります。

トップメッセージでは常に何をすべきかを問い続け、それを社員の皆様に語り掛けておられます。社員一丸となって課題に取り組んでいくとされる強い意志が感じられます。

地域社会と一体となった活動も多くなされておられますが、社外との対話の機会を創造し、新たな課題を見つけ出す良いチャンスとなつているものと思います。また社員を大切な存在と位置付けられており、働く方々の士気があがるとともに、魅力的な会社になつておられることを再認識いたしました。

もうひとつ重要な点は、15の課題で取り上げられる「お客様満足度」と「お客様の声収集」です。提供するサービスの品質を向上するためには、お客様の厳しい声も取り上げていかなければなりません。これらを重要課題とされていることは、企業の持続的成長を促すものと考えます。

私どもとしましては、中特グループ様よりいただいた廃棄物をセメント資源化するだけでなく、私どもにはない様々な活動や考え方について、引き続き学ばせていただきたいと思います。

最後になりますが、中特グループ様のますますのご発展と社員の皆様方のご健勝をお祈り申し上げます。

リライフ

ゲストハウス

リライフ下松工場内のゲストハウスは、搬入にえられるドライバースーツやお客様が利用される際に過ごしやすいよう、飲み物や冷暖房の完備、また季節の飾り物、ダチョウの卵の展示などをしていきます。

来社の際には、ぜひゲストハウスでおくつろぎください！



工場見学は、TEL、メール、その他で気軽に申込みください。

地域社会とともに



中特グループは、地域社会の一員として、地域社会とのかかわりを大切に、グループ全社をあげて様々な企業活動を行っています。

エコフェス in

周南24時間リレーマラソン

今年も9月22日に周南緑地公園にて「エコフェス」を周南24時間リレーマラソンと同時に開催いたしました。

地域の方と一緒に「環境について考えてみよう」をコンセプトに始めたエコフェスも今回で5回目を迎えました。

当初は会社の敷地内で行われていたのが、昨年より場所を変えた事で来場者も増え、1,159名とたくさんの方々に楽しんでいただけるイベントに成長しました。

中特グループ若手メンバーで構成された「エコライフチーム」の企画運営によるこのイベントは地域の方と接することが出来る貴重な時間として大切にしています。

また、今年も中特グループだけではなく、周南市サイクル推進課

様や特定非営利活動法人フードバンク山口様のご協力も得ることで、昨年よりさらに広く環境について感じていただくことが出来ました。



お片付け川柳

お片付け・エコに関わる川柳を募集しましたところ、全国から700を越える川柳の応募がありました。

事務局もたくさんの方の応募にうれしい悲鳴でした。エコフェス会場で来場者に優秀作を投票していただきました。



最優秀作品

「やな予感

リンバがオレを 追いかける」

中年やまめさん（神奈川県）

他にも、中特グループCEO特別賞優秀、佳作を選定し賞品を贈りました。

みんなで作る環境の木

環境に関するコメントを葉っぱの付箋に記入してもらい、緑に包まれた未来の環境の木を完成させました。



中特エコクイズラリー

クイズ形式で「環境のこと」・「エコのこと」を少し勉強していただくとうる人用、子供用2つのクイズラリーを用意！ひっかけ問題もあり、楽しんで取り組む親子の姿が見られました。

中特エコクイズラリー 参加無料

会場内にある中特グループとエコについてのクイズにチャレンジ！景品をGETしよう！

目指せ 全問正解！

クイズラリー受付



パフォーマンスショー
パフォーマーをお呼びし披露してもらいました。子供たちは夢中になって見ていました。



エコ工作
ペットボトルを利用したアクセサリ、プレスレット、けん玉などの製作体験をしました。中でもプレスレットは女の子に大人気でした！



縁日
ヨーヨー・フライングピザ・射的・型抜き・縁日なども行い子供たちに大変好評でした！



フリーマーケット
フリーマーケットを開催し、リーズナブルな価格で日用品・生活雑貨などを提供しました。
中には超目玉商品もあり、開始早々から多くの方が詰めかけ盛況でした。

フードバンク山口様によるフードドライブ実施

「フードバンク」この言葉をご存知ですか？日本では年間 646 万トンの食品が廃棄されています（2017 年環境省）。そんな中、企業や家庭で不要になったまだ食べられる食材を、それを必要とする方々にお渡しする活動または NPO 法人のことをそう呼びます。今回フードバンク山口様をお招きしてフードドライブの活動をしていただきました。

なんとこの日がフードバンク山口様の周南での初の収集イベントだそうです。周南でも皆さんに知っていただく良い機会になったのではないかと思います。114 品（22.9kg）ものご提供がありました。



都市鉱山からつくる！ みんなのメダルプロジェクト

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が主催する、リサイクル金属を東京 2020 大会での表彰メダル製作に活用する国民参画型プロジェクトです。

国民が参画し、メダル製作を目的に小型家電の回収を行うプロジェクトは、オリンピック・パラリンピック史上、東京 2020 大会が初めてとなります。

中特グループはエコフェス会場の一部を貸し出し、周南市リサイクル推進課様に小型家電を回収いただきました。

合計で 110kg もの小型家電を回収していただきました。



■ 環境出前授業



山口県産業廃棄物協会青年部の企画で山口県内の児童クラブや高校を訪問し出前授業を実施しています。



今年も周南市内の各小学校で環境出前授業を実施しています。

◆ クリーンアップボランティア活動 ◆

中特グループ各部門企画および「瀬戸内の海を美しくする会」はじめ関係団体の活動に賛同し、地域・海岸・まつりなどのクリーンアップ清掃ボランティア活動に参加しています。

- ① 2017年10月31日 山口県産業廃棄物協会
不法投棄廃棄物撤去ボランティア
- ② 2017年12月23日 周南冬のツリーまつりクリーンアップ
【中国特殊エコ事業部企画】
- ③ 2018年4月7日 地域清掃（拡大版）【エコライフチーム企画】
- ④ 2018年6月2日 はなぐり海岸清掃 【リライフ企画】
- ⑤ 2018年7月7日 梶島新港清掃ボランティア
【瀬戸内の海を美しくする会】
- ⑥ 2018年7月14日 大津島海岸清掃
【瀬戸内の海を美しくする会】
- ⑦ 2018年7月20日 大迫田墓地清掃 【中国特殊HOS企画】
- ⑧ 2018年7月22日 徳山夏祭り清掃（翌日早朝）【吉本興業企画】
- ⑨ 2018年9月15日 大津島刈尾海岸清掃
【瀬戸内の海を美しくする会】
- ⑩ 各月出勤土曜日定例 地域清掃 【グループ全体企画】



④



⑦



⑧



⑨



⑩

働きやすい職場をめざして



中特グループは、労働慣行と人権に配慮し、ワークライフバランスを含め男女がともに働きやすい雇用環境づくりにつとめ、女性活躍・イクメン応援・多様性を受け入れる人材採用を推進しています。

ANG アネゴネットワーク活動中

トップスリーがすべて女性の中特グループは、管理職・一般社員・重機の運転職まで多くの女性が働いており約3割弱が女性社員ですが、さらに女性社員比率を高めるように努力しています。

女性社員で構成するANG（アネゴ）ネットワークを作り活動中です。定期的に会合を開くとともにANG（アネゴ）ブログを開設し情報発信しており、社外へもその輪を広げています。



ANGネットワーク会合の様子

男性同様大型車や重機の運転をする女性社員もおり、事務職女性社員も積極的に現場見学等に出向き、仕事内容を実際に見て覚えていきます。



現場見学



働き方改革

◆「労働生産性向上」「業務の効率化」に取組み、「社員のスキルアップ」と「顧客対応の充実」と「業績の向上」を目指します。

◆ワークライフバランスの推進、社員の健康で充実した生活を後押しします。

この2つの方針のもとワークスタイル変革に取り組んでいます。

休日増

トップ座談会の中で言及していますが今年度より創立記念日（2月1日）を休日にしました。

お客様・関係者の皆様どうかご理解の上休日出勤とならない様にご配慮お願いします。

PM6時全員帰社

これもトップ座談会の中で言及していますが、CEOの発信により定時の1時間後のPM6時には退社するよう促しています。その後残業する場合は部長の特別了承が必要です。

1丁拡充

営業関係者及び外部での業務が多い社員はタブレット端末を携帯し、業務効率化並びにお客様サービス向上を図っています。

社外での業務を行うすべての社員は、スマートフォンにて企業向けLINEによる情報連絡をオンタイムで行うようにしています。

イクメン企業

グループで「やまぐちイクメン応援企業」の登録を受け、男女がともに働きやすい雇用環境をつくり、子育てを応援する体制を整えています。

社員とともに



中特グループは、「すべては、応援からはじまるの精神で接する」という社員に関する方針を掲げ、社員は会社にとって一番大切な存在で、社員とその家族を守る事を最大の目標とし、事業拡大よりも優先します。

事業発展計画発表会

テーマ：不易流行

残し伝えるべきものを残し、変えるべきものを変えること
変化を恐れず挑戦することで企業は存続する

2018年9月1日、2018年度中特グループ事業発展計画発表会を遠石会館にて開催いたしました。

代表 吉本 英子より挨拶
先代社長時代の事業活動のエピソードなどを語られました。



CEO 橋本 ふくみより
「2017年度総括および中特グループ未来地図」の発表
未来地図として目指す会社、目指す人など熱く語られました。



来賓ご挨拶

サマンサジャパン株式会社
代表取締役会長兼CEO
小野英輔様にご挨拶いただきました。

株式会社日本政策金融公庫
下関支店長兼中小企業事業統括

株式会社山口銀行
沢田 昭弘様

株式会社西京銀行
櫛ヶ浜支店長 古谷 俊英様
周南支店長 岩本 直哉様

お忙しい中ご参加いただきありがとうございます。
うございました。

各事業部トップによる 2018年度経営計画発表

中国特殊株式会社	川本 文吾
株式会社藤井興業	平岡 仙吉
株式会社吉本興業	吉本 妙子
株式会社ポータルハートサービス	篠田 直美
株式会社リライフ	吉谷 浩

各事業部とも高い経営目標を達成すべく、目標に向かって邁進します。

表彰

◆最優秀部門賞 リサイクル事業部
事業部全員が努力し高い売上目標を達成した。



◆永年勤続賞
勤続20年 CS営業部 武居 浩



永年勤続賞



最優秀改善提案賞

◆最優秀改善提案賞

エコ事業部SBグループ 秦口雅史
「スマートフォンによる工事写真管理アプリ導入」

社員とともに



表彰者

表彰名	表彰者所属氏名	上司および関係者の推薦コメント
笑顔が素晴らしいで賞	(株)ポータルハートサービス 河内七彩 CS営業部 古賀 洋子	いつも明るく朗らかな笑顔で社内外周囲を癒し業務を推進 失敗しても明るい気持ちを忘れず明るく元気な姿勢が良い
挨拶が素晴らしいで賞	再資源化グループ 富塚 光世 リサイクルグループ 森 邦久	体調・天気に関わらず明るく元気な挨拶でみんなのお手本 ごちみなさの中に元気な挨拶を心がける決意が感じられる
本気のプロフェッショナルで賞	HOSグループ 水本美智也 HOSグループ 中村 勝也	難易度の高い仕事も弱音を吐かず全身全霊でやり遂げる 3Kと言われる仕事にも自分から率先して遂行



懇親会

発表会後は懇親会で、パフォーマンスショー・OXクイズ・じゃんけん大会などで盛り上がり、楽しい時を過ごしました！

中特アカデミー

経営目標のトップに「中特アカデミーによる自己成長」を掲げて、人材育成に取り組んでいます。

2017年度一般社員11・8単位、リーダー20・9単位の修得で若干目標単位には届きませんでした。社員1人ひとりの能力向上・成長・レベルアップは着実に進んでおります。2018年度は、一般社員は企業理念、廃棄物処理法（基本）など12単位/年、主任主席は18単位/年、リーダー以上は廃棄物処理法管理者編、財務会計、労務管理など22単位/年の修得を目指しています。

また、経営目標&環境目標達成のため定期的なリーダー研修会を実施しています。

リーダー研修会

2018年2月にオープンした周南市立駅前図書館でのリーダー研修会、来期予算会議を橋本CEO含め、主任以上が参加し開催しました。新年度目標・将来のあるべき姿などについて討議しました。



事故災害ゼロをめざして



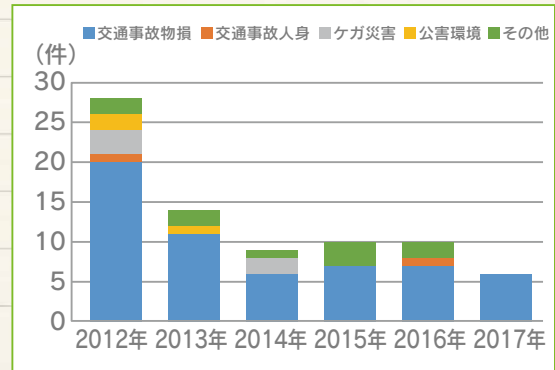
事故災害ゼロを目指してグループ挙げて、各管理者・安全衛生委員を中心として安全衛生防災活動に取り組んでいます。

■事故災害発生状況

事故災害は漸減傾向ですがゼロにはなっていません。

業務の内容が車両に関わるものが多く、2017年度6件の交通物損事故を発生させてしまいました。

人身事故並びに休業・不働災害は発生していません。



2017年度に発生した事故の内容

徳地で左側の路上駐車をかわし走行時、停止車の右後部にタイヤが接触	漫然運転、前方不注意、わき見運転 ハンドル操作ミス
国道315号下りで工事片側交互通行で停止、カーブだったので後続に見えるようバックしたところ、後続車に接触	後部を確認したつもりで（確認せず）バックした
周南市役所近く旧国道2号走行中、目がかゆくなり片手運転ハンドル操作誤り、中央緑石及び樹木に衝突	不用意な運転、片手運転、ハンドル操作ミス
軽ワゴン車で久米の坂道が凍結していたためスリップし滑り後退、停止していた後続車に当たった。	凍結坂道路を無理に上った。スタッドレスタイヤ装着を過信、渋滞のため裏道を通った
遠石マンション収集後出る際、左後部を（振られて）スロープに接触	左後部ガードバンパーが振られる感覚不足、通常より左へ寄り過ぎ、左方確認不足
高速道路佐波川SAから本線へのカーブでスリップしスピンしガードレールに接触	雨天時カーブでブレーキとハンドルを急に作動させスピン

ISO45001 認証取得活動

発行が遅れていましたが、2018年3月にISO45001、日本語版のJISQ45001が9月に発行され、中特グループ全体での認証取得に向け活動を始めました。

2019年7月末まで新しい安全管理システムを運用し、その後、内部監査①、予備審査、内部監査②、本審査の順で実施し2020年初めの認証取得を目指しています。

マニュアル類の整備、セミナー等への派遣、規格の勉強会、安全衛生目標管理（PDCA）、内部監査員養成等々推進いたします。

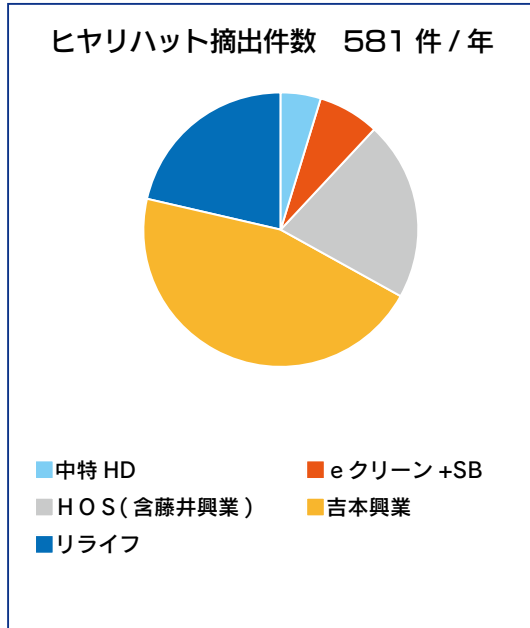
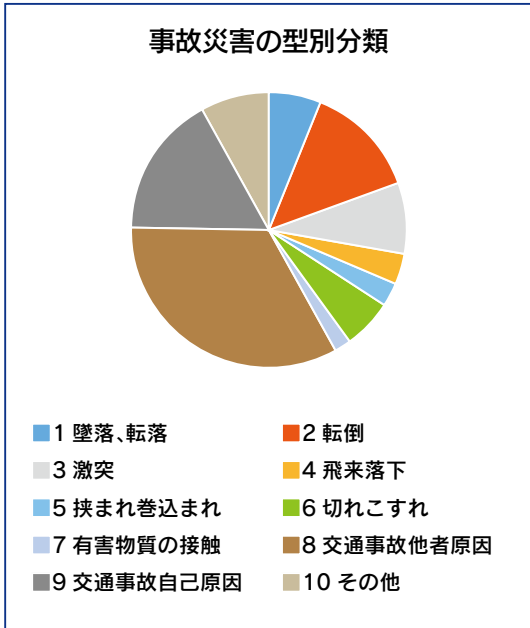
安全衛生方針

1. 災害事故の撲滅を図る。
2. 安全衛生水準の継続的向上を図る。
3. 法令及びその他の要求事項を遵守する。
4. 健康保持・健康増進を推進する。
5. 5Sの行き届いた明るい職場作りを推進する。

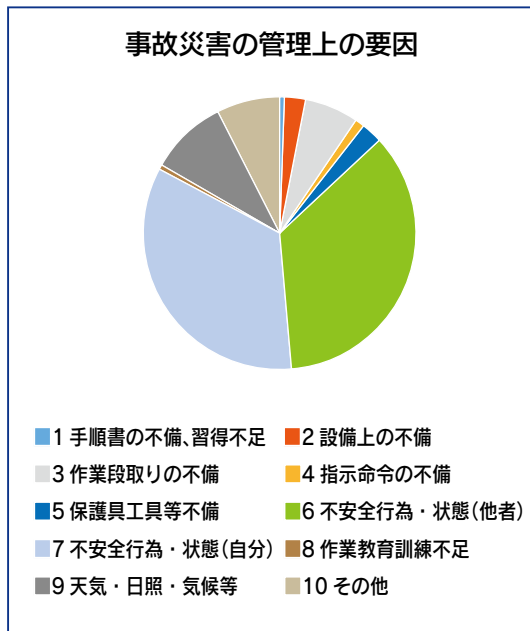
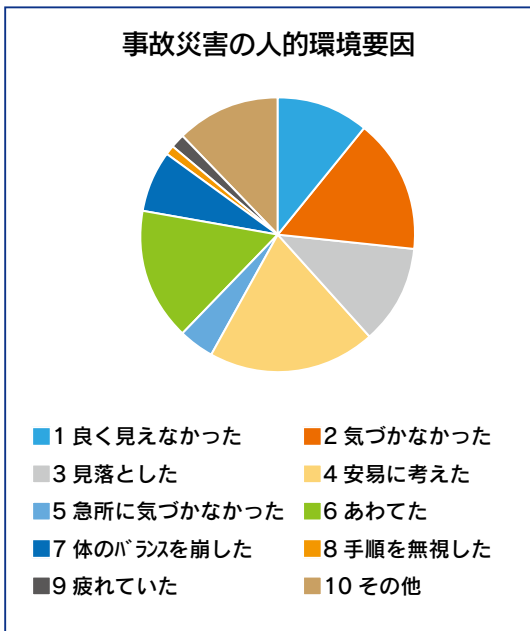


事故災害ゼロをめざして

ヒヤリハットの抽出と分析並びに対策



ヒヤリハット抽出と対策活動
 ハイリハットの法則で語られるように、ヒヤリハットの抽出と対策が事故災害防止には必須です。



2017年度グループ合計で581件のヒヤリハットを抽出し、分析と対策を実施しました。内容は表のとおりです。

重大ヒヤリのフォローアップ
 ヒヤリハットの中でも事故災害につながるものは事故災害と同様に報告書を作成し、一次原因・二次原因の究明と対策の検討及び類似災害防止・水平展開と対策とフォローアップを実施しています。

平成30年7月2日		危険予知活動									
グループ名	改質作業班										
グループの作業内容	改質 原料ダンプ取付機停止、ホッチャー修理、原料ホッチャー整備										
どこに・どんな危険が潜んでいるか	原料ホッチャーの回転時、人が巻き込まれる危険がある。また、原料ホッチャーの停止時に、原料ホッチャーの回転が止まらず、人が巻き込まれる危険がある。										
だから私達はこうします	原料ホッチャーの停止を確認し、安全を確認してから作業を行う。										
体調チェック	○ ○ △ ○ ○										
服装チェック	○ ○ ○ ○ ○										
KY参加者名	リーダー										
	かじり 大東 吉原 藤本 福田										
今日の行動目標	5分の休息、30分										

※服装チェックで×になった者は、すぐに改善し業務に取り掛かること

KY活動
 危険予知活動を現業各部門で実施しています。
 事故災害・ヒヤリハットにつながる危険要因を抽出し対策を実施して、事故災害の芽を摘むと同時に意識の高揚を目指しています。

事故災害ゼロをめざして

事故撲滅研修 (JBK)

中国特殊・吉本興業・リライフ・藤井興業の現業各部門で1回/月事故撲滅研修 (JBK) を実施しています。

事故災害の再発防止、類似事例の検討・交通KY・リスクアセスメント・なぜなぜ分析・KYT4ラウンド法による問題解決訓練等々、各部門で事故災害ゼロを達成するための活動を実施しています。



研修資料 「なぜなぜ分析」

片道の転落に浄化槽清掃に行った際、手前の端で方向転換した時、隣の隣手にバキューム車右後方を接触させてしまい塗装が一部割かれた。

原因(一次原因)なぜ?項目	原因(二次原因)なぜ?項目	原因(三次原因)なぜ?項目
A. 方向転換	なぜ?項目 取れた運転意識	安全意識、事故防止の意識がマンネリ
A. バックミ操作誤り	操作及び感覚と認識相違ミス 確認不足(右後方)	運転操作技能・判断力不足 周視安全方向を確認し確認する意識不足
場所	道路幅が方向転換するに狭すぎる	狭い・無理に方向転換した
A. 認識がなかった(助手-運転者)	必要ないはず	状況を詳細に見て確認していない
A. 認識がなかった(運転者)	運転手から確認がなかった	運転手へ声をかけ、後方意識喚起
A. 認識がなかった(運転者)	必要ないはず	必要ないはず
運転者の位置・やり方良し?	認識していない	

相互安全パトロール

1回/月現業部門の相互パトロールを実施しています。
社内外の各現場まで出かけて、他部門の管理者の異なった目で見えて新たな問題点・改善点を発見しようとしています。



各種訓練の実施

万一の緊急事態、事故災害の未然防止、発生した場合の処置対応手順の確認と実際の器具等の使用並びに動作確認のため、緊急事態対応訓練・消火訓練・誘導訓練などを定期的に行っています。



吉本興業 消火訓練



eクリーン 緊急事態訓練



HOS 酸欠訓練



リライフ 改質緊急事態訓練



吉本興業 誘導訓練

事故災害ゼロをめざして

RA様式-1 リスクアセスメントシート 2018年3月

リスクアセスメント対象職場		実施者氏名		作成GL印							
部門	リライフ	リーダー	メンバー								
グループ	再資源化・未来開発	廣瀬	廣瀬、山田、山本								
チーム	グループ・作業別に記載		高塚								
作業名 (施設・業務等)	危険性または有害性と 発生のある災害事故	既存の 災害防止対策	現状：リスクの見積り 頻度 可能性 重大性 ポイント ランク		リスクの低減 措置案						
施設・業務名			頻度	可能性	重大性	ポイント	ランク		低減措置	頻度	可能性
施設 (中和作業)	中和作業中飛散による火傷	保護員の着用	3	4	5	60	C	ケミカルポンプを使用	3	1	
汚水採取	中空糸膜薬液洗浄時飛散により火傷	保護員の着用	2	4	5	40	C	保護員の見直し	2	2	
		保護員?						保護員?			
施設 (薬液作成)	薬液洗浄用薬液作成時ガスを吸い込み中毒	風下に立たない	1	4	5	20	B	防毒マスクの着用	1	2	
施設 (薬液洗浄)	フィルタープレス薬液洗浄時手頭を間違え薬液の飛散により火傷	手順の確認	2	4	5	40	C	保護員の着用	2	2	

リスクアセスメント活動


グループ全職場でリスクアセスメント活動を実施しています。

化学物質薬品について2016年～2017年にかけて労働安全衛生法関連法令が数度にわたり改正され、化学物質に関する順守義務が拡大されました。

交通安全・交通事故防止

交通事故撲滅DB作成

事故事例・ヒヤリハット事例をデータベース化しグループマップに表示、業務運行ルートの危険箇所を示すようにしました。



無事故無違反コンテスト参加

山口県で主催しております無事故無違反コンテストに、CS営業、HOS、eクリーン、SBグループ、吉本興業の業務で車両運転に関わることの多い各部門で参加しています。

運転操作訓練

運転技術の再確認、巻き込み防止などのため運転操作訓練を実施しています。



交通KY活動

交通事故防止のため交通KY活動も適時実施して安全運転・防衛運転・KY運転の励行を指導しています。



自然災害非常時対応

地震・豪雨・台風など最近の自然災害は想像を超えています。万一の事態に備え、グループ全体で「自助・共助・公助」を踏まえ社内体制を整備しています。

- ◆ **地震対策行動基準 (BCP) 策定**
- ◆ **津波想定データ並びに山口県内避難指定場所の備付け**
- ◆ **非常時防災連絡訓練**
- ◆ **非常時の備蓄**
- ◆ **台風対策基準**

今後30年以内に70%以上の確率で発生が想定される東南海巨大地震に對して、BCPを策定し、さらに山口県の津波想定図及び各地の避難場所の情報を各車両に準備し万一の場合に備えています。

従来より電話連絡網を準備しておりますが、加えてメールによる一斉連絡体制を作り訓練実施、又、携帯各社の災害用伝言板サービス活用体制も準備しています。

災害発生時の飲料水その他の非常用備蓄リストを作成し準備中です。

◆ **台風対策基準**

台風来襲に備える警戒体制を「レベル0～3」まで、取るべき対策措置等の詳細を定めており、この夏もレベル2まで数回発令対応しました。

第3者 意見



山口県立大学
看護栄養学部栄養学科准教授
博士（工学）
特定非営利法人フードバンク山口
理事長

今村 主税様

2015年9月に国連で採択された「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030 アジェンダ」の持続可能な開発目標（SDGs）については、近年はメディアでも頻繁に取り上げられるようになり、認知度も少しずつ上昇してきました。SDGsは2030年に向けた人類共通の目標ではありますが、今までの目標とは少々意味合いが異なることをご存知でしょうか？そのヒントはこの文書のタイトルにあります。もうお気づきだと思いますが、「我々の世界を変革する」という言葉が入っています。全部を記述すると長いので省略されてしまうことが多いのですが、SDGsは「変革するため」の目標なのです。そして全ての人類が目指す目標として採択されたものです。

さて、貴社はこのSDGsをCSRの中に取り入れ実践をされています。そこで質問です。貴社の取り組んだ先の持続可能な社会はどんな社会でしょうか？その姿を描いているのでしょうか？社員の皆さんがその姿を共有できているのでしょうか？貴社の企業理念がすべての社員に浸透していれば、愚問だと思います。そして、それを具体的目標として落とし込んだのが「中特グループの15の課題」として整理されています。

会社経営において近江商人の心得である「三方よし（売り手よし、買い手よし、世間よし）」はよく知られているところですが、SDGsにある持続可能な社会をめざす上で最近よく使われるのが、三方よしに「地球よし」「未来よし」を加えた「五方よし」とする考えです。（※「五方よし」には複数の捉え方があります）すなわち、「売り手」は生産・販売に関わる人、「買い手」は消費者、「世間」は社会、「地球」は地球環境、「未来」は我々の子孫である未来の人々、社会、地球環境を意味しています。そして、貴社はこのSDGsの17のゴールに直結する事業を行い、貴社の持続可能性だけでなく社会や地球環境の持続可能性をも追求できる非常に有利な立ち位置にある企業でもあると思います。これは決して偶然というわけではなく、貴社がこれまでの事業

の中で培ってこられた社会的責任が一つの形となって現れているものと思います。

さて、CSR報告書の内容を拝見して、いくつか気づいたことを申し上げたいと思います。まず、評価できることは貴社のCSRは先に書いた経営理念の下、しっかりと整理されており、着実に実施されていることがよくわかります。特に地域貢献や社員の福利厚生については、地域社会との関わり、社員のワークライフバランスを大切にされ、様々なイベントや交流活動等に積極的に機会を作っておられることは、大変素晴らしく地域における信頼関係や社員一人ひとりの健全で働きがいのある労働環境を築いておられることがよくわかります。また、環境への配慮についても意欲的に取り組んでおられます。報告書自体も大変わかりやすい構成となっており、これも評価できると思います。

一方で今後期待したいことを述べさせていただくと、貴社は社会課題について大変意欲的に事業を進められていますが、その社会課題を解決した先にどのような社会があるのか、抽象的には書かれていますが、より具体的な未来の社会の姿2030年さらには2050年の社会の姿とその社会において貴社が果たす役割を思い描き、その実現を目指して課題解決を図っていくのが望ましい姿であると思います。

またSDGsの17番目のゴールに関連したところで、CSRの取組が地域貢献の部分を除けば、貴社の中で完結しているような印象を受けます。今後の発展を考えると、貴社の様々なステークホルダー、特にNPO・NGOなどの市民活動団体や行政などとの連携がますます重要になってくると考えられます。社会の課題は地球上で一様ではありません。日本、山口県や市町の社会的課題は何なのか？そこに貴社の事業範囲のみではなく、どのような社会の仕組みを構築し、持続可能な社会を目指していくのか？より具体的に未来の社会の姿を描きながら事業を進めて行かれることを期待します。

第3者意見を受けて

貴重なご意見ありがとうございます。2030年のあるべき姿を描いてグループの課題に取り組んでおりますが、ご指摘の通り「さらにその先は？」或いは「今の進め方が妥当か？」ステークホルダーの皆様ともしっかりと具体的に議論及び連携すべきと思っています。まだまだグループの影響力が小さく社会課題を語るのは早いかも知れませんが、ステークホルダーの皆様とのニーズや期待と協働して「社会を幸せにする会社」をめざしてグループ全員で頑張りますので今後ともよろしくお願いいたします。

CSR推進室長 遠藤 清治

公正な事業と組織運営のために

経営執行組織図

SS会議 役員会議

ワクワク会議 部長会議

チャレンジ会議 目標進捗会議

HAPPY会議

営業会議

(株)中特ホールディングス

未来創造室

未来開発部

IT戦略室

企画広報室

CSR推進室

総務管理部

CS営業部

設立：平成24年4月
 代表者：吉本英子、橋本ふくみ
 資本金：3,000万円 社員：20名
 事業内容：中特グループ各社の経営企画・総務・営業・環境安全に関する業務、食品リサイクル事業

エコライフチーム

コンプライアンス事務局

安全衛生委員会

環境委員会

改善提案委員会

中国特殊(株)

エコ事業部

- ・eクリーニンググループ
- ・SBグループ
- ・HOSグループ

設立：昭和41年2月
 代表者：吉本英子
 資本金：2,000万円
 売上高：4億89百万(2017年度)
 社員：30名
 事業内容：
 一般廃棄物収集運搬業
 産業廃棄物収集運搬業
 下水道維持管理業、建設業
 解体業、浄化槽保守点検業

(株)藤井興業

- ・アメニティチーム
(新南陽担当)

設立：平成5年4月
 代表者：平岡仙吉
 資本金：1,000万円
 売上高：49百万(2017年度)
 社員：4名
 事業内容：
 一般廃棄物収集運搬業
 産業廃棄物収集運搬業
 貯水槽清掃業、浄化槽保守点検業

(株)吉本興業

環境事業部

- ・スマイルグループ
- ・スマイルサポートグループ

設立：昭和42年7月
 代表者：吉本妙子
 資本金：1,000万円
 売上高：2億70百万(2017年度)
 社員：25名
 事業内容：
 一般廃棄物収集運搬業

(株)ポータルハートサービス

設立：平成30年8月
 代表者：篠田直美
 資本金：1,000万円
 社員：10名
 事業内容：
 各種片付け事業
 遺品整理事業
 生活関連のお困りごとの解決

(株)リサイクル

リサイクル事業部

- ・サポートグループ
- ・リサイクルグループ
- ・再資源化グループ

設立：平成元年2月
 代表者：橋本ふくみ
 資本金：9,500万円
 売上高：6億52百万(2017年度)
 社員：21名
 事業内容：
 産業廃棄物収集運搬業
 産業廃棄物処分業、リサイクル事業

事業内容は、ISO適用範囲です。
(全グループ全業務に適用)



Reの種を育てて
Greenな社会をつくる



株式会社 中特ホールディングス

〒745-0801 山口県周南市大字久米 3078 番地の 1
TEL: 0834-26-0500 FAX: 0834-25-2856 <http://www.chutoku-g.co.jp/> Eメール info@chutoku-g.co.jp

中国特殊株式会社

〒745-0801 山口県周南市大字久米 3078番地の1
TEL: 0834-26-0500 / FAX: 0834-25-2856

株式会社 吉本興業

〒745-0801 山口県周南市大字久米 3044番地の2
TEL: 0834-25-0423 / FAX: 0834-25-2939

株式会社 リライフ

本社: 〒745-0801 山口県周南市大字久米 3078番地の1
TEL: 0834-33-8685 / FAX: 0834-25-2856
下松リサイクル工場:
〒744-0002 山口県下松市東海岸通り18番地の1
TEL: 0833-44-0007 / FAX: 0833-44-1007

株式会社 藤井興業

〒746-0017 山口県周南市宮の前 二丁目2番12号
TEL: 0834-63-1294 / FAX: 0834-25-2856

株式会社 ポータルハートサービス

〒745-0801 山口県周南市大字久米 3078番地の1
TEL: 0834-33-8100 / FAX: 0834-25-2939

ポータルハートサービス  0120-050-742